



支え合いで元気な町づくり 想いを語り合う

9月12日、今年度3回目の支え合いで元気になる町づくり勉強会が、町改善センターで開催され、約30名が参加しました。

5年後10年後どのような地域のあり方が望ましいかを整理した後、その姿を築くための生活支援協議体に必要な構成員は誰かということグループで話し合いました。参加者からは「代表者に限らず各団体で意欲的に動ける人」「若手の参加」「仲間の声を常に聞いている人」といった意見が出されました。

「支え合い・助け合いは行政主導ではなく、地域の皆さんで考え、実行することが大事」という講師の鶴山氏のアドバイスに、皆さんの地域づくりへの思いが熱くなりました。

金山のあるべき姿について語り合う参加者の皆さん

三浦早苗展開催 「風景と暮らして」

9月2日から6日、宮城県加美町で三浦陶房を営む三浦早苗さんと長男征太郎さんの作品展が、蔵史館で開催されました。花器やカップ、絵画のほか、かもしかななどの動物のお面等、約200点が展示され、来場者の目を楽しませました。

今年度で6年目を迎える本作品展。2日にはセレモニーが行われ、早苗さんより町へ絵画が寄贈されました。これはまもなく還暦を迎える早苗さんのご厚意によるもの。「私自身の節目の年に、お世話になっている金山に何かしたかった。この白いヤマユリの絵は金山をイメージして描いた。私が最も好きな花であり、野花の女王であるヤマユリは金山にぴったりだ」と話していました。



寄贈されたヤマユリの絵画の前で行われたセレモニー



バトルカービング優勝の佐藤さんは1本の丸太から2体のふくろうを制作

豪快かつ繊細 東日本チェーンソーアート

9月17から18日、遊学の森を会場に、第11回東日本チェーンソーアート競技大会が開催されました。

この日のために全国各地から15名の選手が集結。1本の丸太から数種類のチェーンソーを駆使し、作品を削っていました。中でもバトルカービングは、短時間でいかに高い完成度の作品を仕上げられるかを競うもの。その豪快かつ繊細なチェーンソーさばぎに、観客は息を飲んで見入っていました。

優勝した佐藤雄三さん（山形市）は「地元山形出身者として、優勝できてよかった」と話し喜びの表情を浮かべていました。会場内では、その他にも特産品の販売や森のコンサートなどの様々な企画が催されました。

平成2年度金山中卒業生 10万円の寄付

9月6日、平成2年度金山中学校卒業生同期会の「四十二歳を祝う会」の実行委員長堀幹子さん（七日町）、佐藤紀子さん（安沢）が役場を訪れ、金山中学校の教育資金に役立ててほしいと10万円の寄付をいただきました。

また、金山郵便局で取り組んだ、ハガキを利用した「飲酒運転撲滅運動」へもご協賛いただきました。

多方面へご支援いただき、ありがとうございました。



鈴木町長へ寄付金を寄贈する佐藤さん(左)と堀さん(右)

まちのわだい

消防団指令車並びに積載車 無事に納車

8月31日、消防団指令車並びに第6分団第1部積載車の納車式が行われ、本部団員や第6分団員らが安全に末永く利用できるように祈願しました。2台ともに20年以上ぶりの更新となりました。

気持ちを新たに、地域の安心・安全を守るため、消防団活動で大事に活用していきます。



新たに納車された第6分団第1部積載車(左)と消防団指令車(右)

寿大学舞台発表会 日頃の成果を披露

9月8日、寿大学舞台発表会が中央公民館で行われ、町内老人クラブのメンバーなど約150名が来場し、各クラブの踊りや歌の発表に、会場は熱気に包まれました。

中でもこの日最も盛り上がりを見せたのは、トリを飾った高堂クラブの「あめ売り節」。これは秋田県湯沢市の民謡に、高堂クラブ創作の踊りを振り付けたもの。踊りで使用する大蛇の人形など、小道具も全てクラブの皆さんで制作されたそう。「あまり練習ができなかったが、盛り上がり過ぎてよかった。今後色々な機会披露できたら嬉しい」と笑顔で話す高堂クラブの栗田カツ子さん（小蟬）。この日会場は終始笑顔で溢れ、発表者・来場者ともに目一杯楽しんでいました。



あめ売り節にあわせて創作ダンスを踊る高堂クラブの皆さん

(株)荘内銀行金山支店 移転リニューアル

9月20日、(株)荘内銀行金山支店において、グランドオープンを記念して、テープカットセレモニーが行われました。セレモニーに際して、(株)荘内銀行上野頭取は「金山町の皆様には、長年にわたり同支店をご愛顧いただき感謝する。新店舗も同様に多くの町民の皆様へ愛される支店となるように努力していく」と決意を述べられました。

金山支店旧店舗は昭和51年に開店し、40年間にわたり多くの町民の皆さんに利用されました。この度、老朽化に伴い、隣接する三英興業(株)旧社屋に移転。新店舗は店舗内外に金山杉をふんだんに使用しており、景観に溶け込む金山らしいデザインとなっています。



新店舗前で執り行われたグランドオープンセレモニー

固定資産評価審査委員会委員 丹秀夫氏に委嘱

9月27日、役場町長室で金山町固定資産評価審査委員会委員の委嘱状の交付が行われ、丹秀夫さん（内町）が委員に再任されました。

任期は平成28年9月27日から平成31年9月26日までの3年間。丹さんは平成19年から3期務められ、今期で4期目となります。今後もよろしくお願ひします。



委嘱状を受け取る丹さん